

「中国人との交渉のコツ」

齋藤一成

・はじめに

2018年9月から半年間中国に留学している、齋藤一成です。中国に来て一か月が経ち、日本では想像もしていなかったたくさんの経験をしています。今のところ生活はすべて順調で、楽しい時間を過ごしています。このような機会をいただけて、県の国際課の皆さんにはとても感謝しております。そして、埼玉県民の皆様の税金で留学させてもらっている以上、なにかをつかんで、埼玉県民の皆様に還元したいと思っております。

さて、このレポートでは私が一か月間中国で過ごして感じた、「中国人の印象」と、「交渉のコツ」を紹介させていただきます。今後同じ埼玉県のプログラムで山西大学に来る方や、中国に行きたいと思っている方々の参考になれば幸いです。

・中国人の印象

中国人と話した最初の印象は、「態度が悪い」ことでした。どこの店の店員も大抵、携帯で友達とテレビ電話していたり、片膝たててゲームをしています。バスの運転手は5秒に一回はクラクション鳴らすし、タクシーの運転手は乗らないと怖い顔で威嚇してきて、唾を吐き捨てる。などなど。思っていたよりも対応が悪いので驚きました。

もちろん、優しい中国人もいます。私たちがよく行く食堂の店員さんは、私が携帯を忘れてしまったとき、5人くらいで一緒に探してくれて、監視カメラも調べてみると言ってくれました。やはりどの国でも優しい人はいます。中国だと余計にその優しさのありがたさを感じます。結局携帯は部屋に置き忘れていただけで、すぐ謝りにいきました。その時も笑って「よかったねえ」と言ってくれました。

中国人は基本的に愛想を振りまくとすることをしないので、初めて話すと心が折れてしまいそうになります。ですが、仲良くなるとおまけしてくれたり、携帯を探してくれたり、根はやさしい人が多いと思います。ですので、態度の悪さは、悪気はないものと思って気にしないようにしましょう。

・中国人との交渉のコツ

中国人と交渉するときは、とにかくしつこく交渉することです。何を言われても引き下がらないことです。

中国人は基本的に面倒くさがりです。こちらの要求にはめんどくさがってなかなか答えてくれません。ここで、私が実践し、トイレのつまりを解消するポンプをタダで手に入れた交渉方法を紹介します。

私たちが泊まっていた宿舎は、よくトイレが詰まりました。用務員に直してくれるように言うと、「俺はお前らの部屋に関係ない」、「詰まるなら自分でポンプを買ってくれ」とのことでした。さすが中国人。面倒くさがりです。私はとにかくしつこく、「みんなポンプ持

ってるんだけどなんで僕らの部屋にだけないの?」、「なんで?なんで?」と言いつけました。相手も何か文句を言って来ますが、相手の言うことはすべて無視です。そもそも何を言っているかわからないので無視するしかありません。それを10分ほど続けていると、従業員は「わかった、わかった、もういいから、俺のをあげるよ」と折れてくれました。そのポンプのおかげで今では快適にトイレを使えています。もしこれから中国に来る人は、なにか困ったことがあったら、まず交渉してみましょう。そして、粘って粘って粘り続けてください。相手が何を言っているかわからなくても構いません。何を言われても無視して、「なんで?」と文句を言いましょ。「こいつ面倒くさいな」と思わせればこちらの勝ちです。さらに中国語の実践練習にもなって一石二鳥です。最初は中国人の態度に心が折れそうになりますが、中国人は、粘れば割と折れてくれます。

・最後に

中国に来て、早一か月がたちました。最初は中国人の愛想の無さに驚きましたが、今ではそれも中国の良さかなと思うようになりました。むしろお世辞や表面上の愛想の良さがないので、正直で率直な人たちです。これから中国に来る皆さんはそんな正直な中国人の態度を楽しむ余裕を持つといいと思います。

日本より便利な中国の電子マネーについてや、仲良くなった陽気なタイ人のことなど、まだまだ書き足りないことがあります長くなってしまうので次の機会にさせていただきます。皆さんの参考になれば幸いです。ありがとうございました。

写真：西安市内にて移動式屋台

